

C o l l a b o r a t i o n s W o r l d

～学校でも家庭でもできない体験を通してミュージカルをつくろう～

事前説明会

事業目的

山の都の魅力を活かし、立場を越えて協力することの大切さを学ぶことで、お互いを認め合う柔軟な心を育む。

事業概要

Collaboration Final これまでの経験を題材にしたミュージカルワークショップ

子ども達が、互いに助け合いながらその個性を活かしてミュージカルをすることで、協力により生まれる感動を実感する。

Collaboration 2 里山を「活かす」

帯那の里山の魅力を伝えることをテーマに職業を越えて協力している人たちと共に帯那を学び、協働により生まれるより良い学びの場を実感する。

Collaboration 3 自然を「育む」

自然に「触れる」「育む」の立場を共に活かすことで人と自然との共生が可能であることを実感する。

Collaboration 4 他者を「知る」

目が不自由な方とのグランドソフトボールを通して、他者の立場を知り、共に楽しみながら心の壁を乗り越えることが出来ることを実感する。

Collaboration 1 結団式

メンバー全員の顔合わせの場

集大成であるミュージカルワークショップショップに向け実体験の有無でミュージカルの演技に差がでることを学ぶ

募集人員・対象年齢・参加費用

募集人員：30名

**対象年齢：2020年度新小学校4年生～6年生
(9歳～12歳)**

参加費用：5000円

**昼食：参加費用に昼食代は含まれておりません。
各事業にはお弁当を持参いただく必要があります。**

応募者多数の場合は、男女構成、年齢構成などを考慮して、参加者を選定させていただきます。

事業日程

4月11日（土）	10:00～16:00	Collaboration 1 結団式	県民文化ホール
5月 9日（土） 5月10日（日） 予備日	10:00～16:00	Collaboration 2 里山を「活かす」	創作の杜おびな
7月25日（土） 8月 8日（土） 予備日	10:00～16:00	Collaboration 3 自然を「育む」	武田の杜
9月13日（日）	10:00～16:00	Collaboration 4 他者を「知る」	山梨県立盲学校 グラウンド
10月23日（金） 10月24日（土） 10月25日（日）	18:00～21:00 09:00～18:00 09:00～18:00	Collaboration Final ミュージカルワークショップ	県民文化ホール
10月31日（土）	10:00～12:30	解団式	甲府北公民館

Collaboration 1

～結団式～

指導者 : 中原和樹氏

実施内容 : ミュージカルのワンシーンを実際に稽古・体験するなかで実体験の有無でミュージカルの演技に差がでることを学ぶ。

指導者：中原和樹氏

プロフィール

劇団もんもちプロジェクト主宰・演出。山梨県立県民文化ホールアーティスティックアドバイザー。

演出家、劇作家、舞台監督、アクティングコーチとしての顔を持ち、色々な角度と深度で舞台芸術に向き合いながら、音楽と芝居との融合、現代美術・舞踊・舞踏・他ジャンルとクロスオーバーするような舞台作品制作を目指している。

オリジナルミュージカルの作・演出など多岐に渡り、東京や福島、山梨県立県民文化ホール等で2018年には「ライオンキング」、2019年には「アラジン」のミュージカルワークショップを行い、プロの俳優だけでなく、市民参加型の活動に力をいれている。

Collaboration 2

～里山を「活かす」～

実施内容：

- 帯那の里山で「ネイチャービンゴ」ゲームをしながらフィールドワーク
- 帯那の食材を使った草木染め体験

協力団体

「いろいろどり」

普段は全く別の仕事をしている人たちが集まり、帯那の魅力を伝えることをテーマに、職業が違えど、それぞれの得意分野を活かして協力している団体

Collaboration 3

～自然を「育む」～

実施内容：

- 武田の杜サービスセンター所長 村山力氏による講演
「甲武信ユネスコエコパークで人と自然との共生について考える」をテーマに、自然に「触れる」立場と自然を「育む」立場を共に活かすことの大切さの講演
- 武田の杜の森林ウォーク
- 丸太切り体験（自然を「育む」体験）
全員がノコギリを使って丸太切り体験を行う。
- 間伐材積み木を利用したチームビルディング体験（自然に「触れ協力する」体験）
間伐材で作られた大量の積み木（積み木の形は3種類）を利用し、どのチームが一番高く積み上げることが出来るか競う。

C o l l a b o r a t i o n 4

～他者を「知る」～

実施内容：目が不自由な方と一緒にグラウンドソフトボールを通じて、共に楽しみながら自然と心の壁を乗り越えることを実感する。

協力団体
「山梨グラウンドソフトボールチーム」

グラウンドソフトボールとはどのような競技か？

視覚に障害のある人たちにとっては、一般の野球やソフトボールを行うことは大変難しいので、用具やルールを変更して野球を楽しみます。

基本的なゲームの形態や流れは、ソフトボールに準じていますが、視覚障害に配慮したルールがいくつかあります。

①人数：1チーム10人で行いますが、4名以上は全盲選手がプレーしなければいけません。ピッチャーは必ず全盲選手が行います。

②用具：球は全日本グラウンドソフトボール連盟公認球を使用します。キックベースのボールを少し小さくしたサイズです（外周58～60センチ）特別に音が鳴るような球ではなく、球が地面を転がる音を手掛かりに全盲選手はプレイします。バットは、硬式用のものを使用し、野球のようなグローブは使用しません。

③投球：ピッチャーの投球は、地面を転がすようにして投げます。球種はストレートのほか、カーブやシュートもあります。

④走塁：ベースは野球のベース以外に、走塁専用のベースを設け、ランナーはそこを走ります。本来の野球のベースは、守備専用のベースとなります。

【野球との大きな相違点】

①全盲守備者が、フライ、ゴロどちらにおいてもボールを捕球した場合は、アウトになります。この時に、他の守備者やベンチからの打球の方向の指示は禁止されており、全盲守備者はボールの転がる音だけで判断し、捕球します。

②1塁から本塁までの各4つの走塁ベースには、それぞれランナーコーチャーを置きます。全盲の打者及び走者は、コーチャーの手ばたき、もしくは声の誘導で走ります。

Collaboration Final

～ミュージカルワークショップ～

指導者 : 中原和樹氏

実施内容 : 練習から本番までを3日間で行うミュージカルワークショップを実施する。

実施日時 : 1日目 2020年10月23日(金) 18:00～21:00

2日目 2020年10月24日(土) 09:00～18:00

3日目 2020年10月25日(日) 09:00～18:00

指導者：中原和樹氏

プロフィール

劇団ももちプロジェクト主宰・演出。山梨県立県民文化ホールアーティストティックアドバイザー。

演出家、劇作家、舞台監督、アクティングコーチとしての顔を持ち、色々な角度と深度で舞台芸術に向き合いながら、音楽と芝居との融合、現代美術・舞踊・舞踏・他ジャンルとクロスオーバーするような舞台作品制作を目指している。

オリジナルミュージカルの作・演出など多岐に渡り、東京や福島、山梨県立県民文化ホール等で2018年には「ライオンキング」、2019年には「アラジン」のミュージカルワークショップを行い、プロの俳優だけでなく、市民参加型の活動に力をいれている。

1 日目	2 3 日(金)
1 8 : 0 0	スタート・アイスブレイク
1 9 : 0 0	台本の説明、内容確認
1 9 : 3 0	シーンや音楽に触れる。
2 0 : 4 5	翌日連絡
2 1 : 0 0	稽古終了

2 日目	2 4 日土曜
0 9 : 0 0	ウォーミングアップ・台本稽古
0 9 : 3 0	振付をやってみる
1 0 : 1 5	配役、役割分担決め（裏方も含む）
1 1 : 0 0	台本稽古
1 2 : 3 0	昼食
1 3 : 3 0	台本稽古
1 7 : 4 5	翌日連絡
1 8 : 0 0	稽古終了

ワークショップ2
日目に配役を発表
します。子供たち
のこれまでの様子、
他の人との組み合
わせなどバランス
含めて検討します

3日目	25日(日)
09:00	ウォーミングアップ・台本稽古
09:30	前日の復習
10:00	台本稽古
12:30	昼食
13:30	最終通し稽古
14:30	最終通し稽古のコメント、修正、稽古
15:30	準備
16:00	発表会
17:00	フィードバック
18:00	子ども達解散

発表会には、子供たちのご家族、会員の皆様で見ていただきたいと思います。人前に立つ楽しさ・緊張・ワクワクまで含めて体験してもらいます。

応募について

【FAXでの応募】

募集チラシの裏面の申込書に必要な事項を記載しFAXでの申し込み。

【インターネットでの応募】

**甲府青年会議所公式WEBサイト
<https://2020.kofujc.com/>
からの申し込み。**

Collaboration 1

結団式

日時：2020年4月11日（土）
10：00～16：00
（09：30～受付開始）

場所：県民文化ホール

